

第2章 来訪者の動向調査

1. 配布・回収状況および回答者属性

(1) 配布・回収状況

上野地区における調査票の回答者総数は、377人であり、回収率は31.4%で、浅草地区の回答者総数は、320人であり、21.3%である。

(2) 回答者属性

回答者の性別（無回答者含む）は、上野地区では男性が25.5%と女性が65.5%、浅草地区では男性が24.7%と女性が63.4%になり、両地区ともに女性の方が多くの割合を占める。

回答者の年齢層は、両地区ともに、56歳から65歳までの属性が最も高い割合を占めており、56歳から74歳までの年齢層が両地区とも過半を占める（表2.1）。

回答者の居住地は、回答者の住所を表2.4に示した類型で集計した。両地区ともに南関東各県からの来訪が全体の4割を占めた。上野地区が主に南関東各県から来訪するのに対し、浅草地区の方は来訪圏域が広い（表2.3）。

表 2.1 回答者の年齢層

年齢層	上野地区		浅草地区	
	N	割合	N	割合
～25歳	6	1.6%	11	3.4%
26～35歳	24	6.4%	26	8.1%
36～45歳	23	6.1%	35	10.9%
46～55歳	46	12.2%	51	15.9%
56～65歳	118	31.3%	91	28.4%
66～74歳	115	30.5%	72	22.5%
75歳～	36	9.5%	31	9.7%
不明	9	2.4%	3	0.9%
計	377	100.0%	320	100.0%

表 2.2 回答者の居住地

年齢層	上野地区		浅草地区	
	N	割合	N	割合
台東区	6	1.6%	7	2.2%
周辺5区	21	5.6%	4	1.3%
その他特別区	115	30.5%	42	13.1%
東京都特別区外	37	9.8%	12	3.8%
南関東各県	154	40.8%	130	40.6%
1都3県外	36	9.5%	120	37.5%
不明	8	2.1%	5	1.6%
計	377	100.0%	320	100.0%

表 2.3 居住地の分類

分類	説明
台東区	台東区内の居住者
周辺5区	周辺5区(千代田・中央・文京・荒川・墨田の各区)の居住者
その他特別区	上記の6区を除く東京都特別区の居住者
東京都特別区外	東京都各市町村の居住者
南関東各県	千葉県・埼玉県・神奈川県
1都3県外	上記以外の居住者

2. 上野・浅草地区における来訪者の行動と特性

(1) 上野・浅草地区における来訪者行動

①活動目的別実施率

上野・浅草地区の来訪者が実際にとった行動について、活動目的別に実施率（各目的の有効回答者に占める「おこなった」と回答した者の割合）を集計した（表 2.4）。

各地区の実施率は、上野地区：食事・喫茶（77.5%）、散歩・散策（70.0%）、芸術鑑賞（67.9%）で、平成 20 年度調査は、芸術鑑賞（80.2%）、食事・喫茶（63.7%）、散歩・散策（53.0%）であった。また、浅草地区は、寺社参拝（86.6%）、買物（79.4%）、散歩・散策（76.6%）、食事・喫茶（73.4%）で平成 20 年度調査とほぼ同じ実施率であった。

表 2.4 活動目的別実施率

①上野地区

活動の種類	N	実施率
b. 食事・喫茶	292	77.5%
i. 散歩・散策	264	70.0%
a. 芸術鑑賞（博物館・美術館）	256	67.9%
c. 買物	167	44.3%
d. 動物園見学	53	14.1%
e. イベント参加	21	5.6%
g. 職場への出勤・学校への通学	17	4.5%
h. 職場外への業務・商用・出張	14	3.7%
f. 親戚訪問・友人訪問	13	3.4%
j. その他私用（通院・塾・習い事）	13	3.4%

②浅草地区

活動の種類	N	実施率
a. 寺社への参拝	277	86.6%
c. 買物	254	79.4%
j. 散歩・散策	245	76.6%
b. 食事・喫茶	235	73.4%
e. 大衆演劇・落語の鑑賞	21	6.6%
d. 花やしきへ来園	15	4.7%
f. イベント参加	12	3.8%
g. 親戚訪問・友人訪問	10	3.1%
i. 職場外への業務・商用・出張	7	2.2%
h. 職場への出勤・学校への通学	6	1.9%
k. その他私用（通院・塾・習い事）	6	1.9%

(N=697)

(2) 調査日における来訪者の行動

① 調査日前後の宿泊

上野・浅草両地区の来訪者が、調査日（調査票を受け取った当日）の前後に宿泊を伴っているかについて集計した（表 2.5）。

両地区ともに、調査日当日の「日帰り」と回答した来訪者が大半を占めた。特に上野地区では「日帰り」する来訪者が 95.2%で、浅草は 69.4%である。

表 2.5 調査日前後の宿泊

調査項目	上野 (N=377)	浅草 (N=320)
①日帰り	359(95.2%)	222(69.4%)
②前泊(調査日前日のみ宿泊)	12(3.2%)	65(20.3%)
③後泊(調査日当日のみ宿泊)	4(1.1%)	10(3.1%)
④連泊(調査日前日・当日の宿泊)	2(0.5%)	23(7.2%)

上野・浅草両地区の来訪者が宿泊した先を市区町村別に集計したものが表 2.6 である。浅草地区の来訪者では、台東区内に宿泊した回答者が最も多くなった一方で、上野地区の来訪者は、全体的に宿泊者が少なかった。

表 2.6 来訪者の宿泊先（市区町村別集計）

①上野地区				②浅草地区			
宿泊地	前泊	後泊	計	宿泊地	前泊	後泊	計
台東区	3	2	5	台東区	19	9	28
その他特別区	5	1	6	港区	10	4	14
多摩地域	1	1	2	江東区	7	1	8
千葉県	2	1	3	中央区	6	2	8
うち浦安市			0	豊島区	4	2	6
神奈川県		1	1	渋谷区	5		5
埼玉県	1		1	品川区	4		4
1都3県外	2		2	その他	7	3	10
不明・車中泊			0	多摩地域	1	3	4
宿泊者サンプル計	14	6		千葉県	9	5	14
				うち浦安市	4	1	5
				神奈川県	5	3	8
				埼玉県	2		2
				1都3県外	2		2
				不明・車中泊	7	1	8
				宿泊者サンプル計	92	34	

② 来訪者の他地区立ち寄り割合

上野・浅草地区の来訪者のうち、両地区に訪れた前後で他地区に立ち寄った割合について集計した(表 2.7)。

上野・浅草地区の来訪前後に、他地区に立ち寄った来訪者の割合は、浅草地区、74.7%、上野地区、48.3%、それぞれの地区を訪れる前後で他地区に立寄っている。

表 2.7 来訪前後の他地区への立ち寄り

調査項目	上野 (N=354)	浅草 (N=293)
①立ち寄りなし	183(51.7%)	74(25.3%)
②来訪前のみ立ち寄り	49(13.8%)	77(26.3%)
③来訪後のみ立ち寄り	86(24.3%)	66(22.5%)
④来訪前・後とも立ち寄り	36(10.2%)	76(25.9%)

上野・浅草地区を来訪する前後の立ち寄り先を集計した。(図 2.3～2.4)

いずれも自宅近隣をはじめとした「その他」が多いが、上野・浅草両地区の相互移動（上野浅草の回遊性平均値）は回答者の約 13%であった。今回調査より、平成 24 年春開業予定の「東京スカイツリー」建設現場への来訪について選択肢に加えた。

結果は浅草地区の来訪者の立ち寄り先として最も選ばれていることが判明した。

図 2.3 上野地区来訪前の立ち寄り先

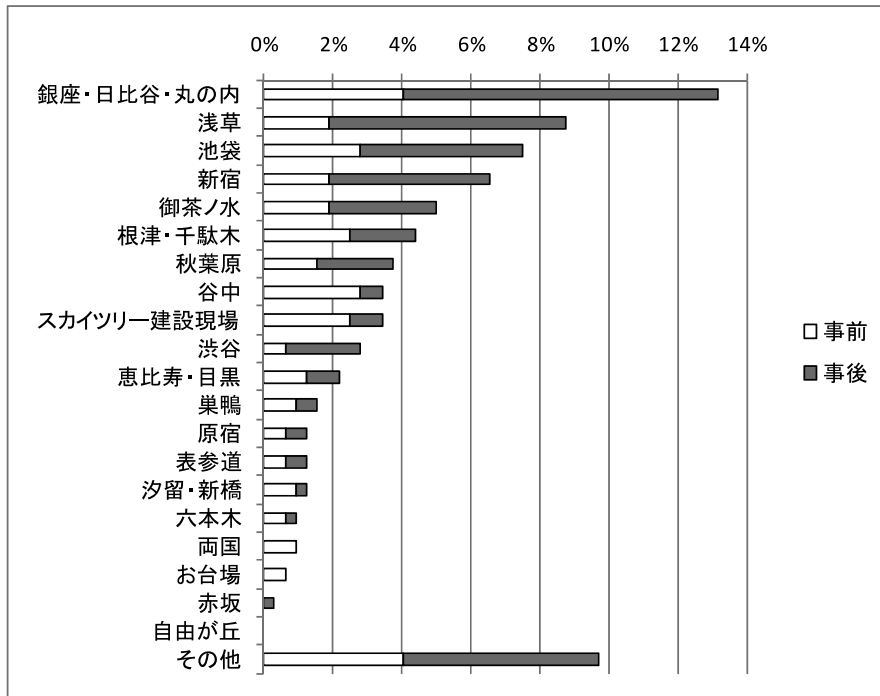


図 2.4 浅草地区来訪前の立ち寄り先

